



人権集会 自分らしく生きる みんな笑顔に

12月12日(月)に、代表委員会と6年生が中心となって人権集会が行われました。今年度は、子供たちが主体的に人権について考えられるように、1年生から6年生まで一緒になってチームを作り、自分の考えを発表したり聞き合ったりしながら、思いを深めていくという形をとりました。始めに代表委員から、以下のような問題提起がされました。

「みなさん、人権という言葉聞いたことがありますか。人権とは、私たち誰もがみんなもっている権利のことです。私たち人間は、誰でも自分の命が守られ、社会のルールの中で明るく楽しく生活できる権利をもっているということです。もし『いじめ』があったら、楽しくなくて明るい気持ちになれません。心や体を傷つけ、つらい気持ちにさせてしまう『いじめ』は、人権を傷つける大きな問題です。常磐っ子が明るく楽しく学校生活を送り、『いじめ』のない学校にするためにはどうしたらよいか、チームで話し合います」。



お互いにチームで意見交換した後、チームの発表を聞いて、すてきな、いいなと思った意見を全体で交流する場面がありました。そこでは、「友達やみんなと仲良くする」「自分の嫌なことを人にしない」「お互いの気持ちをわかりあう」「差別を

しないで常磐っ子のみんなが公平で生きられるように」など、たくさんの発表がなされました。特に驚いたのは、上学年はもちろん、1年生も堂々と全校児童の前で発表する姿があったことです。常磐小学校が、明るく元気で笑顔あふれる学校になるよう、一人一人が自分事として考えることができた素敵な集会となりました。



会の最後に私からは、「人権とは、生まれた時からもっている自分らしく生きる権利であること」「一人一人の違いを認め、自分や友達のよいところを見つけて、それぞれが大切な存在であることを知ってほしいこと」「人の心や体を傷つけ辛い気持ちにさせるいじめはあってはならず、特に死ぬという言葉で人の心を傷つけることは絶対にいけないということ」

「悪に負けない強い心、自分自身が正義の味方となる正しい心、それを支えるすこやかな心と体が大切であること」など、校訓「強く正しくすこやかに」を想起させながら、子供たちの心に響くようにメッセージを送りました。

これからも、常磐っ子の一人一人が正義の味方となって主体的に考えて行動し、思いやりあふれる優しい心もち、みんなが笑顔で明るく楽しく安心して学校生活を送れるよう、教職員一丸となって全力を尽くしたいと思います。



今後とも、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。